

進路通信

2026（令和8）年7月7日

第15号

枚方市立中宮中学校

三者懇談ですね。

もうすぐ三者懇談ですね。三者懇談というと、学期の反省を親に見せられて、提出物の何が出てなくて、なんて話をされるんだろうなあ、いやだなあ、なんて思っている人が大半でしょうか。まあ、そういうのもあるんですが、3年生の懇談はそれだけでは終わりません。大切な「進路」の話をしなければならないからです。とは言っても、まだ実力テストも受けてない状態ですから、「この学校は厳しいよ」とか「このまま頑張ればだいじょうぶだよ」なんて話ができるわけではありません。今回の懇談では第1回進路希望調査に書いていただいた内容について「どうしてこの学校に行きたいの?」とか、「将来どんな職業に就きたいの?」とか「どんな高校を探しているの?」といったことを聞きます。ですので君らは、進路希望調査に書いた内容について、なぜそう書いたのか、きちんと説明できるようにしておいてください。

また、今回の懇談では、1, 2年生のときの評定の確認と、本人保護者の住所氏名の確認をします。本日、「住所氏名・成績等の確認について」を配布しています。必ず、おうちの方と住民票に書いてある住所と一致しているかを確認して懇談の日にもってきてください。

よくある入試の流れ

さて、まだ先のことですが、3学期に控えている入試の日程を把握していますか?今回はよくある入試の流れと受験方法について説明します。大阪・京都の私立高校は原則2月10日に入学試験があります。これが1次試験といわれるもので、私立高校で話し合っただけの入試日をそろえているのです。そうするとこの1次試験より前に出願しなければいけません。大阪・京都の出願は、だいたい1月20日前後（一部の学校は除きます）になります。3学期の始業式は1月7日。約2週間で願書を完成させなければなりません。「そんなんすぐできるやろ」と思うかもしれませんがね。出願は次のような流れになります。

- ① 志望校のHPで入力した内容をあなたがプリントアウトし、学校に持ってくる
- ② 先生たちで正しく入力しているかどうかのチェックをする
- ③ 受験料をおうちの方に支払ってもらう
- ④ 願書をダウンロードする
- ⑤ 願書をあなたがプリントアウトして学校に持ってくる
- ⑥ 先生たちで間違いがないか確認し、校長先生に校長印を押してもらう
- ⑦ 郵送するための封筒やその他必要な書類をそろえる
- ⑧ 郵便局に持って行って郵送する

と、出願までに結構な手順を踏むのがよくわかるでしょう。

1次試験で思うような結果が出なかった場合に1.5次試験というものがあります。これは統一日というものはなくて、2月15日前後が多いですが、早ければ2月12日、遅ければ2月末くらいまでやっている場合もあります。と聞くと、1次試験では少々チャレンジしても1.5次でどこか受かったらいいやん、と思うかもしれませんが、中学校としては1.5次をあてにした受験はお勧めしていません。理由はいつかあります。まず、1.5次はすべての学校で行っているわけではありません。人気の高校は1次で埋まってしまうので1.5次をやりません。やっても、特進コースだけとか、コースを絞る場合があり、自分の希望しているコースで1.5次があるとは限りません。次に、1次の発表から1.5次までは時間がありません。受験に落ちるといのは皆さんが思っているよりもずっとショックを受けるものです。それは受験勉強を一生懸命やってきた人ほど多くショックを受けます。一生ずっと心の傷として引きずる場合もあります。そんな状態から立ち直る暇なく、先生保護者と懇談をして次の受験校を決めて、願書を書いて、出願をして受験をする。そんな経験はできるだけしない方がよいと先生は思います。少なくとも中学生という人生で最も多感な時期にするべきではないと思います。というわけで、私立の1次試験は確実に受かるであろう学校を1校だけ受けるというのを中学校としては原則おすすめしているのです。

そんなこんなで何とか私立の受験を乗り切った後、人によっては公立の特別選抜があります。2月15日、16日が出願、18日、19日が試験（音楽科は別日程）になりますので、私立の1.5次を受けることになったらもう大変です。そして3月1日に合格発表です。一般選抜は出願が3月3日～5日ですから、特別選抜で不合格になった場合一般選抜に出願するのはとても大変です。そして3月10日に試験、12日に卒業式、18日に発表とあっという間に3学期が終わります。

ついでに言っておきますと、公立高校にも2次募集というものがあります。3月23日出願、24日面接、27日発表という流れになります。ただ、これまで大石が指導した生徒でこの2次募集を受けた生徒はいません。なぜかという、そもそも2次募集は定員に満たなかった高校が、その定員に足りない分だけしか募集をしません。そして、2次募集を受けるための条件が「本入学者選抜出願時に国公立の高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部のうち、いずれの入学者選抜にも合格していない者（出願していない者を含む）又は合格しても必要な手続きをしなかったため入学の資格を失った者」となっています。つまり最初から私立高校を併願しないで公立高校だけ受けて不合格になった人か、私立高校を合格したけれど入学するのをやめた人しか出願できません。そして2次募集で不合格になっても併願の私立高校に戻ることはできません。2次募集に出願するということは、2次募集に不合格になったら、高校生にはなれない（通信制など一部中途入学できる場合もあります）というリスクを負わないと出願できないということになります。せっかく合格した高校があるのに、その権利を手放してまで2次募集に出願するのはもったいないですよ。二次募集に頼ることのない進路選択をしていただけたらと思います。

少し話がそれましたが、3学期がいかに忙しいかわかってもらえたでしょうか。ですので、私立・特別選抜・高専の志望校は2学期末懇談で決定する、ということなのです